

ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース/Bコース

運用報告書(全体版)

第17期(決算日2020年11月18日)

作成対象期間(2019年11月19日～2020年11月18日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2003年11月19日から2023年11月20日までです。	
運用方針	世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定します。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行います。
主な投資対象	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース/Bコース	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース/Bコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	毎決算時に、原則として繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期騰落率	ナスダック・バイオテック指数 (円ヘッジベース)	期騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
13期(2016年11月18日)	21,329	1,000	△16.8	369.06	△13.4	100.5	—	9,401
14期(2017年11月20日)	22,010	1,100	8.4	391.63	6.1	95.7	—	59,514
15期(2018年11月19日)	20,171	900	△4.3	387.78	△1.0	95.8	—	57,653
16期(2019年11月18日)	20,974	1,000	8.9	399.46	3.0	96.2	—	45,496
17期(2020年11月18日)	26,336	1,300	31.8	497.11	24.4	93.3	—	28,050

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=ナスダック・バイオテック指数(円ヘッジベース))は、ナスダック・バイオテック指数(US\$ベース)を当社が独自にヘッジコストを考慮して円換算したものです。
(出所)ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	ナスダック・バイオテック指数 (円ヘッジベース)	騰落率		
(期首) 2019年11月18日	円	%		%	%	%
11月末	20,974	—	399.46	—	96.2	—
12月末	22,493	7.2	427.02	6.9	97.2	—
2020年1月末	22,851	8.9	433.84	8.6	98.1	—
2月末	21,742	3.7	411.94	3.1	95.4	—
3月末	21,556	2.8	403.88	1.1	94.0	—
4月末	21,019	0.2	387.16	△3.1	95.6	—
5月末	24,557	17.1	445.74	11.6	94.8	—
6月末	25,576	21.9	468.33	17.2	96.9	—
7月末	25,991	23.9	476.64	19.3	97.7	—
8月末	26,024	24.1	485.46	21.5	93.5	—
9月末	25,295	20.6	470.67	17.8	95.6	—
10月末	26,691	27.3	476.76	19.4	95.5	—
11月末	26,648	27.1	471.38	18.0	96.2	—
(期末) 2020年11月18日	27,636	31.8	497.11	24.4	93.3	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株組入比率	株先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期騰落率	ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)	期騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
13期(2016年11月18日)	23,881	1,000	△25.6	464.65	△21.8	100.8	—	12,791
14期(2017年11月20日)	25,377	1,300	11.7	511.23	10.0	95.7	—	54,555
15期(2018年11月19日)	23,684	1,200	△1.9	520.94	1.9	96.3	—	59,150
16期(2019年11月18日)	24,147	1,400	7.9	533.08	2.3	96.2	—	45,226
17期(2020年11月18日)	28,991	1,500	26.3	643.01	20.6	94.8	—	30,332

*基準価額は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数 (=ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)) は、ナスダック・バイオテック指数 (US\$ ベース) を当社が独自に円換算したものです。
(出所) ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率
	騰落率	騰落率	ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2019年11月18日	24,147	—	533.08	—	96.2	—
11月末	26,074	8.0	574.12	7.7	97.0	—
12月末	26,563	10.0	584.67	9.7	98.1	—
2020年1月末	25,168	4.2	553.89	3.9	96.5	—
2月末	25,075	3.8	545.74	2.4	94.7	—
3月末	24,118	△0.1	521.18	△2.2	95.1	—
4月末	27,727	14.8	590.38	10.7	95.1	—
5月末	29,065	20.4	624.37	17.1	96.8	—
6月末	29,626	22.7	636.98	19.5	97.5	—
7月末	28,820	19.4	630.09	18.2	95.9	—
8月末	28,212	16.8	615.57	15.5	97.3	—
9月末	29,903	23.8	626.44	17.5	95.8	—
10月末	29,526	22.3	612.57	14.9	97.3	—
(期末)						
2020年11月18日	30,491	26.3	643.01	20.6	94.8	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

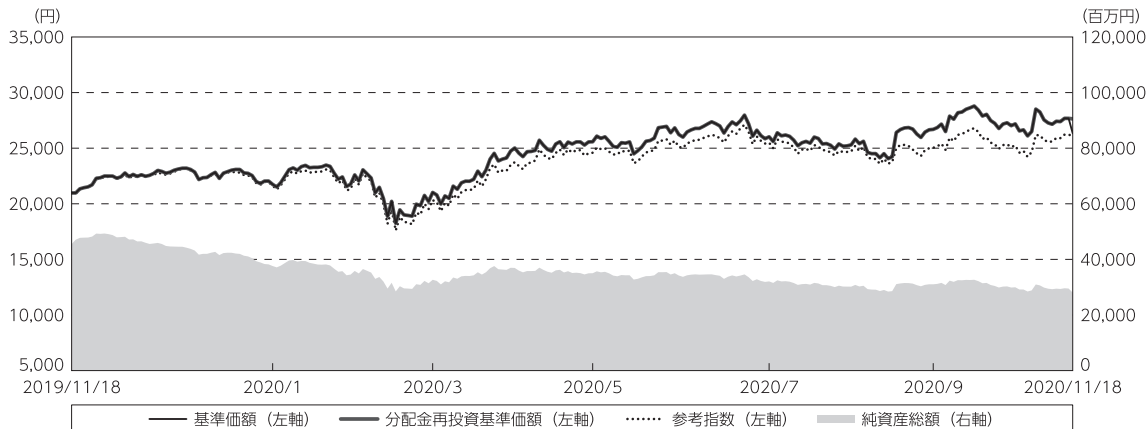
*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：20,974円

期 末：26,336円 (既払分配金(税込み)：1,300円)

騰落率： 31.8% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2019年11月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数(円ヘッジベース)です。参考指数は、作成期首(2019年11月18日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首20,974円から期末26,336円となりました。

- (上昇) スイス大手製薬企業が相次ぎ米国のバイオテクノロジー企業の買収を発表したこと、FDA(米食品医薬品局)による新薬承認報道も相次いだこと、ASH(米国血液学会)年次総会においてバイオ各社の最新治験データの発表が続いたこと、がん治療薬の開発を行っているバイオテクノロジー企業に対する大手製薬企業の買収が相次いだこと
- (下落) 米大統領選挙レースにおいて、健康保険改革に意欲的なサンダース民主党候補者の支持率が上昇したこと、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されたこと、その後感染者・死者数が世界各地で増加したこと、欧米各国で非常事態宣言が出され、世界的に景気悪化懸念が強まったこと

<Aコース>

- (上昇) ギリアド・サイエンシズ（米国）の抗ウイルス治療薬レムデシビルを筆頭に、新型コロナウイルスワクチンの開発期待が高まったこと、新型コロナウイルスの感染拡大「第2波」の懸念の高まりから、ワクチン開発期待が高い企業などが買われたこと
- (下落) 米中対立激化懸念が急速に高まったこと、トランプ米大統領が薬価抑制関連の大統領令に署名すると報道されたこと、開発中の血友病治療薬がFDAの承認を得られなかったバイオジェン（米国）株が下落したこと、開発中の関節リウマチ治療薬がFDAの承認を得られなかったギリアド・サイエンシズ株が下落したこと
- (上昇) ギリアド・サイエンシズが同業他社を買収することが伝わり、市場で中小型バイオ株への買収期待が強まったこと、7-9月期決算で予想を上回るバイオ企業が相次いだこと、米議会選挙で上院は共和党が過半数を押さえる見通しとなり、民主党の「ブルーウェーブ」シナリオが崩れ薬価改定などの政策リスクが後退するとの期待が高まったこと

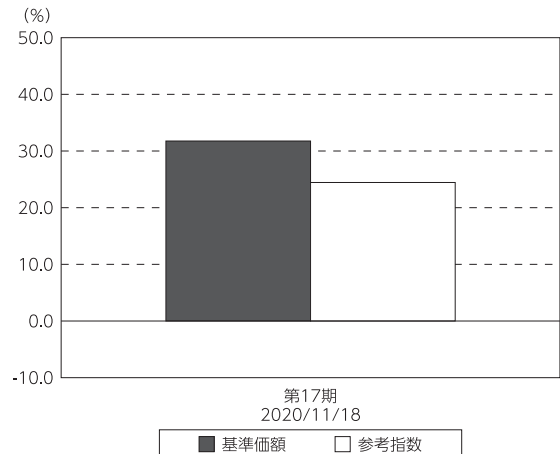
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテック指数（円ヘッジベース）の24.4%の上昇に対し、基準価額は31.8%の上昇となりました。主なプラスの差異要因としては、ギリアド・サイエンシズに買収された米国の画像診断・治療機器メーカー株や、米国の大手製薬企業に買収された米国の循環器系内科向け精密医療会社株などをオーバーウェイト（参考指数と比べ高めの投資比率）としていたことなどが挙げられます。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円ヘッジベース）です。

<Aコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万円当たり1,300円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万円当たり・税込み)

項 目	第17期
	2019年11月19日～ 2020年11月18日
当期分配金	1,300
(対基準価額比率)	4.704%
当期の収益	1,300
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	16,335

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：24,147円

期 末：28,991円 (既払分配金 (税込み)：1,500円)

騰落率： 26.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首 (2019年11月18日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース) です。参考指数は、作成期首 (2019年11月18日) の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首24,147円から期末28,991円となりました。

- (上昇) スイス大手製薬企業が相次ぎ米国のバイオテクノロジー企業の買収を発表したこと、FDA (米食品医薬品局) による新薬承認報道も相次いだこと、ASH (米国血液学会) 年次総会においてバイオ各社の最新治験データの発表が続いたこと、がん治療薬の開発を行っているバイオテクノロジー企業に対する大手製薬企業の買収が相次いだこと
- (下落) 米大統領選挙レースにおいて、健康保険改革に意欲的なサンダース民主党候補者の支持率が上昇したこと、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されたこと、その後感染者・死者数が世界各地で増加したこと、欧米各国で非常事態宣言が出され、世界的に景気悪化懸念が強まったこと、為替市場で一時102円台までドル安 (円高) が進んだこと

<Bコース>

- (上昇) ギリアド・サイエンシズ（米国）の抗ウイルス治療薬レムデシビルを筆頭に、新型コロナウイルスワクチンの開発期待が高まったこと、新型コロナウイルスの感染拡大「第2波」の懸念の高まりから、ワクチン開発期待が高い企業などが買われたこと、為替市場で一時111円台までドル高（円安）となったこと
- (下落) 米中対立激化懸念が急速に高まったこと、トランプ米大統領が薬価抑制関連の大統領令に署名すると報道されたこと、開発中の血友病治療薬がFDAの承認を得られなかったバイオジェン（米国）株が下落したこと、開発中の関節リウマチ治療薬がFDAの承認を得られなかったギリアド・サイエンシズ株が下落したこと
- (上昇) ギリアド・サイエンシズが同業他社を買収することが伝わり、市場で中小型バイオ株への買収期待が強まったこと、7-9月期決算で予想を上回るバイオ企業が相次いだこと、米議会選挙で上院は共和党が過半数を押さえる見通しとなり、民主党の「ブルーウェーブ」シナリオが崩れ薬価改定などの政策リスクが後退するとの期待が高まったこと

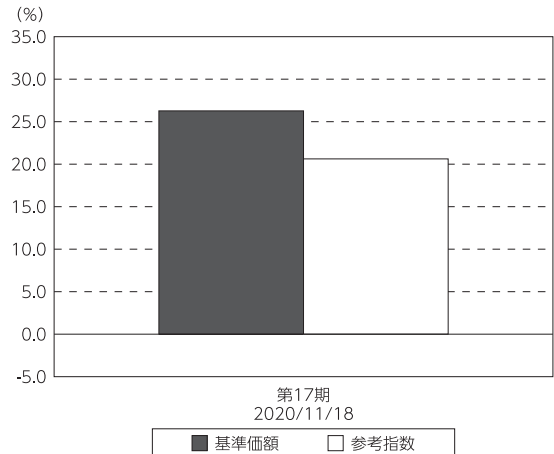
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）の20.6%の上昇に対し、基準価額は26.3%の上昇となりました。主なプラスの差異要因としては、ギリアド・サイエンシズに買収された米国の画像診断・治療機器メーカー株や、米国の大手製薬企業に買収された米国の循環器系内科向け精密医療会社株などをオーバーウェイト（参考指数と比べ高めの投資比率）としていたことなどが挙げられます。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）です。

<Bコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり1,500円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第17期
	2019年11月19日～ 2020年11月18日
当期分配金	1,500
(対基準価額比率)	4.919%
当期の収益	1,500
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	18,991

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

期中の米国株式市場は、年明けに新型コロナウイルスの感染拡大による世界景気の低迷懸念を嫌気する形で一時急落する動きとなりました。しかし、各国政府・中央銀行による景気刺激策や低金利政策などを背景に、その後持ち直す展開となり、また、新型コロナウイルス向けワクチン開発への期待も加わり、期末にかけ反発基調を強め、前期末比でプラスとなりました。

為替市場では、米中貿易協議の進展期待などを背景に、ドル円レートは期初の108円台から、一時は112円台まで上昇（円安）しました。しかし、2月半ば以降は新型コロナウイルスの感染が世界全体に拡大したことなどを受け、102円台まで急落（円高）する場面も見られました。しかし、その後は米国や欧州で大型経済対策が成立したことや、新型コロナウイルスの感染拡大がピークを越えたとの見方から投資家のリスク回避姿勢が弱まりドル円は反発（円安）しました。4月以降は、米中対立が再燃したことや、米国の低金利政策が長期化するとの観測が強まったほか、新型コロナウイルスの感染再拡大懸念も強まりドルは下落基調となり、期末時点では104円台まで円高（ドル安）が進みました。

<Aコース/Bコース>

○当ファンドのポートフォリオ

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース] および [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース] は、主要投資対象である [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定しました。
- (2) 大型株と中型株を中心に、画期的、かつニーズが高く将来性が期待される薬品や既存薬にない特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目しました。また、バイオテクノロジー業界内で多くの新興企業の中から銘柄を発掘するなど、厳選した企業に対する投資を行ってまいりました。
- (3) 新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に大きな影響を与える中、バイオテクノロジー関連企業を含む医薬品企業による治療薬やワクチンの開発動向に注目が集まり、当ファンドでも関連銘柄に注目してまいりました。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド]

・投資環境

バイオ医薬品セクターについては、短期的には新型コロナウイルスの感染拡大と米国大統領選挙が株価に影響を与える重要な話題となっています。新型コロナウイルスに関しては、一部の製薬企業やバイオ医薬品企業が急ピッチで開発を行っており、比較的短期間に効果のある治療法が発見されるものとみえています。当面は、抗体治療の治験結果と、ワクチン開発の最終段階の治験結果発表が待たれる状況ですが、2020年末もしくは2021年初めにワクチン承認の可能性が高まった場合には、どのように配分するのかが新たなトピックとして浮上するものと予想します。

注目されていた米国の選挙については、民主党のバイデン候補が大統領となり、連邦議会では上院が共和党、下院が民主党のねじれ議会が続く公算が大きくなったことは、最善のシナリオと考えます。バイデン大統領の誕生により、混沌とした状況が改善し、科学や規制当局への信頼性を高め、科学分野への政府支出を増やす可能性があります。一方、ねじれ状態の連邦議会は、超党派の支援がなければ法律を制定することが難しく、法案が急進的なものではなく、より穏健なものになることを意味しています。今後は、民主党、共和党の超党派で進めているメディケア（高齢者向けの医療保険プログラム）の改革の動きが医薬品の価格の引き下げにつながる可能性があります。診療件数や処方箋件数などの面では量的増加につながり、全体的にはポジティブに働くと考えます。

・運用方針

当ファンドは引き続き、堅固な事業基盤を有し、優秀な経営陣を擁する企業を厳選し、高いイノベーション能力と強い戦略的展望のある企業を選定することが、投資家の利益につながると考えます。綿密なファンダメンタルズ（基礎的条件）分析と科学面および臨床データの評価に加え、未だ満たされていない医療ニーズを満たすような薬や新薬候補を有する企業に注目していく方針です。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース]

主要投資対象である [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース]

主要投資対象である [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年11月19日～2020年11月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 506	% 2.090	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(266)	(1.100)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(213)	(0.880)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(27)	(0.110)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	12	0.050	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(12)	(0.050)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.003	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.003)	
(d) そ の 他 費 用	4	0.018	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	523	2.161	
期中の平均基準価額は、24,203円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

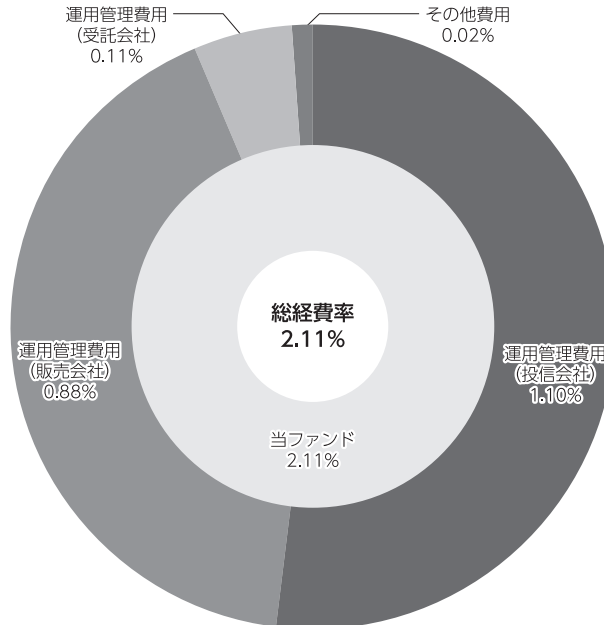
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.11%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2019年11月19日～2020年11月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 1,570,892	千円 8,613,800	千口 6,320,814	千円 36,869,225

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2019年11月19日～2020年11月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	131,845,852千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	69,836,268千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.88

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年11月19日～2020年11月18日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	%	うち利害関係人 との取引状況D	D C	%
為替先物取引	百万円 161,886	百万円 5,993	3.7	百万円 145,707	百万円 -	-

<Aコース>

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 3,150	百万円 —	% —	百万円 55,182	百万円 4,733	% 8.6

平均保有割合 48.6%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2020年11月18日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 8,906,768	千口 4,156,846	千円 27,326,279

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2020年11月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千円 27,326,279	% 91.1
コール・ローン等、その他	2,654,812	8.9
投資信託財産総額	29,981,091	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(61,431,917千円)の投資信託財産総額(61,903,159千円)に対する比率は99.2%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=104.09円、1デンマーククローネ=16.57円、1ユーロ=123.43円。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年11月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	57,134,342,300
コール・ローン等	312,384,875
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(評価額)	27,326,279,362
未収入金	29,495,678,063
(B) 負債	29,084,085,658
未払金	27,153,382,957
未払収益分配金	1,384,622,766
未払解約金	207,851,284
未払信託報酬	337,695,163
未払利息	344
その他未払費用	533,144
(C) 純資産総額(A-B)	28,050,256,642
元本	10,650,944,361
次期繰越損益金	17,399,312,281
(D) 受益権総口数	10,650,944,361口
1万円当たり基準価額(C/D)	26,336円

(注) 期首元本額は21,691,370,148円、期中追加設定元本額は2,642,064,961円、期中一部解約元本額は13,682,490,748円、1口当たり純資産額は2,6336円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額555,676,965円。(ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド)

○損益の状況 (2019年11月19日～2020年11月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 109,602
支払利息	△ 109,602
(B) 有価証券売買損益	7,270,748,111
売買益	11,583,404,206
売買損	△ 4,312,656,095
(C) 信託報酬等	△ 742,960,281
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	6,527,678,228
(E) 前期繰越損益金	258,085,724
(F) 追加信託差損益金	11,998,171,095
(配当等相当額)	(11,848,928,493)
(売買損益相当額)	(149,242,602)
(G) 計(D+E+F)	18,783,935,047
(H) 収益分配金	△ 1,384,622,766
次期繰越損益金(G+H)	17,399,312,281
追加信託差損益金	11,998,171,095
(配当等相当額)	(11,851,057,028)
(売買損益相当額)	(147,114,067)
分配準備積立金	5,401,141,186

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2019年11月19日～2020年11月18日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2019年11月19日～ 2020年11月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	88,982,960円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	6,438,695,268円
c. 信託約款に定める収益調整金	11,998,171,095円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	258,085,724円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	18,783,935,047円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	17,635円
g. 分配金	1,384,622,766円
h. 分配金(1万円当たり)	1,300円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	1,300円
------------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金 (特別分配金) となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金 (特別分配金) となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年11月19日～2020年11月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 575	% 2.090	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(302)	(1.100)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(242)	(0.880)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(30)	(0.110)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	14	0.051	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(14)	(0.051)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.003	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(1)	(0.003)	
(d) そ の 他 費 用	5	0.018	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	595	2.162	
期中の平均基準価額は、27,489円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

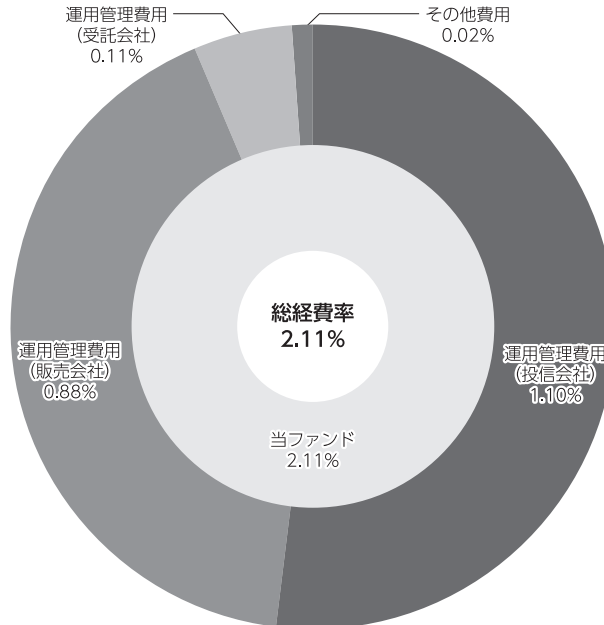
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.11%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2019年11月19日～2020年11月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 1,413,929	千円 7,937,510	千口 5,701,108	千円 33,384,750

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2019年11月19日～2020年11月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	131,845,852千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	69,836,268千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.88	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年11月19日～2020年11月18日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース>

該当事項はございません。

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	B A		百万円	D C
為替直物取引	百万円 3,150	百万円 -	% -	百万円 55,182	百万円 4,733	% 8.6

平均保有割合 51.4%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

<Bコース>

○組入資産の明細

(2020年11月18日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	8,852,907	4,565,729	30,014,189

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2020年11月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	30,014,189	91.4
コール・ローン等、その他	2,824,062	8.6
投資信託財産総額	32,838,251	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（61,431,917千円）の投資信託財産総額（61,903,159千円）に対する比率は99.2%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=104.09円、1デンマーククローネ=16.57円、1ユーロ=123.43円。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年11月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	32,838,251,338
コール・ローン等	408,062,012
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(評価額)	30,014,189,326
未収入金	2,416,000,000
(B) 負債	2,506,153,483
未払収益分配金	1,569,366,636
未払解約金	567,355,260
未払信託報酬	368,848,807
未払利息	450
その他未払費用	582,330
(C) 純資産総額(A-B)	30,332,097,855
元本	10,462,444,241
次期繰越損益金	19,869,653,614
(D) 受益権総口数	10,462,444,241口
1万口当たり基準価額(C/D)	28,991円

(注) 期首元本額は18,729,790,702円、期中追加設定元本額は3,059,397,751円、期中一部解約元本額は11,326,744,212円、1口当たり純資産額は2,8991円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額555,676,965円。(ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド)

○損益の状況 (2019年11月19日～2020年11月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 96,343
支払利息	△ 96,343
(B) 有価証券売買損益	6,685,818,426
売買益	9,579,624,074
売買損	△ 2,893,805,648
(C) 信託報酬等	△ 784,177,960
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	5,901,544,123
(E) 前期繰越損益金	539,593,201
(F) 追加信託差損益金	14,997,882,926
(配当等相当額)	(10,053,509,640)
(売買損益相当額)	(4,944,373,286)
(G) 計(D+E+F)	21,439,020,250
(H) 収益分配金	△ 1,569,366,636
次期繰越損益金(G+H)	19,869,653,614
追加信託差損益金	14,997,882,926
(配当等相当額)	(10,056,369,574)
(売買損益相当額)	(4,941,513,352)
分配準備積立金	4,871,770,688

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2019年11月19日～2020年11月18日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2019年11月19日～ 2020年11月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	97,670,048円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	5,803,874,075円
c. 信託約款に定める収益調整金	14,997,882,926円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	539,593,201円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	21,439,020,250円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	20,491円
g. 分配金	1,569,366,636円
h. 分配金(1万口当たり)	1,500円

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	1,500円
------------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金 (特別分配金) となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金 (特別分配金) となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド

運用報告書

第17期（決算日2020年11月18日）

作成対象期間（2019年11月19日～2020年11月18日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して、投資銘柄を選定します。 株式の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率	純資産額
	期騰落	中率	ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)	期騰落			
	円	%		%	%	%	百万円
13期(2016年11月18日)	40,660	△24.2	464.65	△21.8	100.0	—	22,356
14期(2017年11月20日)	46,409	14.1	511.23	10.0	96.2	—	113,562
15期(2018年11月19日)	46,400	△0.0	520.94	1.9	96.3	—	116,523
16期(2019年11月18日)	51,086	10.1	533.08	2.3	96.2	—	90,726
17期(2020年11月18日)	65,738	28.7	643.01	20.6	95.8	—	57,340

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=ナスダック・バイオテック指数(円換算ベース))は、ナスダック・バイオテック指数(US\$ベース)を当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。
(出所) ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

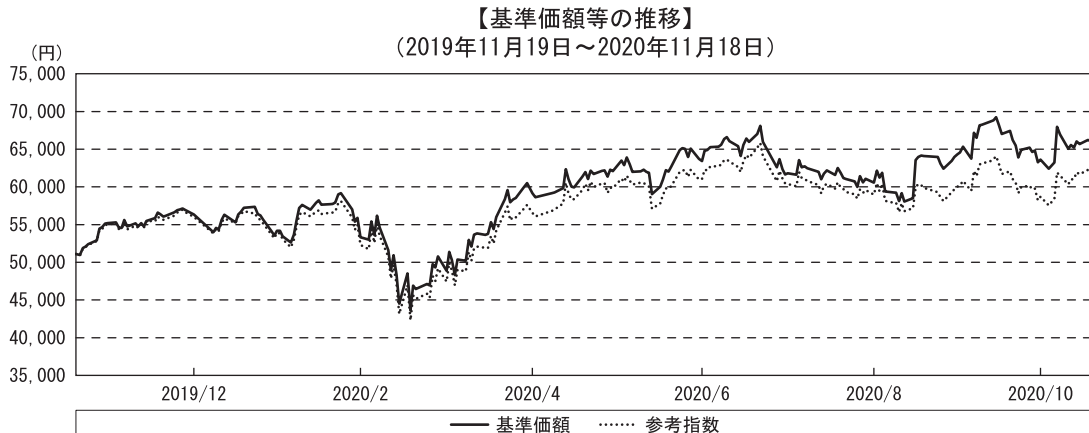
年月日	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率
	騰落	率	ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2019年11月18日	51,086	—	533.08	—	96.2	—
11月末	55,212	8.1	574.12	7.7	97.4	—
12月末	56,330	10.3	584.67	9.7	98.4	—
2020年1月末	53,453	4.6	553.89	3.9	96.8	—
2月末	53,326	4.4	545.74	2.4	95.1	—
3月末	51,381	0.6	521.18	△2.2	95.2	—
4月末	59,159	15.8	590.38	10.7	95.0	—
5月末	62,110	21.6	624.37	17.1	97.1	—
6月末	63,426	24.2	636.98	19.5	98.2	—
7月末	61,795	21.0	630.09	18.2	96.4	—
8月末	60,587	18.6	615.57	15.5	97.7	—
9月末	64,327	25.9	626.44	17.5	95.9	—
10月末	63,617	24.5	612.57	14.9	97.3	—
(期末)						
2020年11月18日	65,738	28.7	643.01	20.6	95.8	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首51,086円から期末65,738円となりました。

- (上昇) スイス大手製薬企業が相次ぎ米国のバイオテクノロジー企業の買収を発表したこと、FDA（米食品医薬品局）による新薬承認報道も相次いだこと、ASH（米国血液学会）年次総会においてバイオ各社の最新治験データの発表が続いたこと、がん治療薬の開発を行っているバイオテクノロジー企業に対する大手製薬企業の買収が相次いだこと
- (下落) 米大統領選挙レースにおいて、健康保険改革に意欲的なサンダース民主党候補者の支持率が上昇したこと、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されたこと、その後感染者・死者数が世界各地で増加したこと、欧米各国で非常事態宣言が出され、世界的に景気悪化懸念が強まったこと、為替市場で一時102円台までドル安（円高）が進んだこと
- (上昇) ギリアド・サイエンシズ（米国）の抗ウイルス治験薬レムデシビルを筆頭に、新型コロナウイルスワクチンの開発期待が高まったこと、新型コロナウイルスの感染拡大「第2波」の懸念の高まりから、ワクチン開発期待が高い企業などが買われたこと、為替市場で一時111円台までドル高（円安）となったこと
- (下落) 米中対立激化懸念が急速に高まったこと、トランプ米大統領が薬価抑制関連の大統領令に署名すると報道されたこと、開発中の血友病治療薬がFDAの承認を得られなかったバイオジェン（米国）株が下落したこと、開発中の関節リウマチ治療薬がFDAの承

認を得られなかったギリアド・サイエンシズ株が下落したこと

(上昇) ギリアド・サイエンシズが同業他社を買収することが伝わり、市場で中小型バイオ株への買収期待が強まったこと、7-9月期決算で予想を上回るバイオ企業が相次いだこと、米議会選挙で上院は共和党が過半数を押さえる見通しとなり、民主党の「ブルーウェーブ」シナリオが崩れ薬価改定などの政策リスクが後退するとの期待が高まったこと

○投資環境

期中の米国株式市場は、年明けに新型コロナウイルスの感染拡大による世界景気の低迷懸念を嫌気する形で一時急落する動きとなりました。しかし、各国政府・中央銀行による景気刺激策や低金利政策などを背景に、その後持ち直す展開となり、また、新型コロナウイルス向けワクチン開発への期待も加わり、期末にかけ反発基調を強め、前期末比でプラスとなりました。

為替市場では、米中貿易協議の進展期待などを背景に、ドル円レートは期初の108円台から、一時は112円台まで上昇（円安）しました。しかし、2月半ば以降は新型コロナウイルスの感染が世界全体に拡大したことなどを受け、102円台まで急落（円高）する場面も見られました。しかし、その後は米国や欧州で大型経済対策が成立したことや、新型コロナウイルスの感染拡大がピークを越えたとの見方から投資家のリスク回避姿勢が弱まりドル円は反発（円安）しました。4月以降は、米中対立が再燃したことや、米国の低金利政策が長期化すると観測が強まったほか、新型コロナウイルスの感染再拡大懸念も強まりドルは下落基調となり、期末時点では104円台まで円高（ドル安）が進みました。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

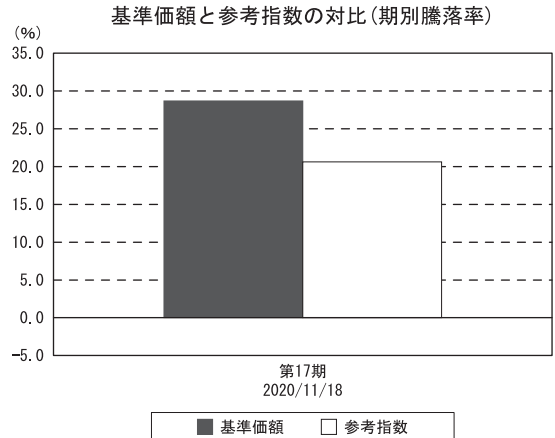
- (1) 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定しました。
- (2) 大型株と中型株を中心に、画期的、かつニーズが高く将来性が期待される薬品や既存薬にない特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目しました。また、バイオテクノロジー業界内で多くの新興企業の中から銘柄を発掘するなど、厳選した企業に対する投資を行ってまいりました。
- (3) 新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に大きな影響を与える中、バイオテクノロジー関連企業を含む医薬品企業による治療薬やワクチンの開発動向に注目が集まり、当ファンドでも関連銘柄に注目してまいりました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）の20.6%の上昇に対し、基準価額は28.7%の上昇となりました。主なプラスの差異要因としては、ギリアド・サイエンシズに買収された米国の画像診断・治療機器メーカー株や、米国の大手製薬企業に買収された米国の循環器系内科向け精密医療会社株などをオーバーウェイト（参考指数と比べ高めの投資比率）としていたことなどが挙げられます。



(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

○投資環境

バイオ医薬品セクターについては、短期的には新型コロナウイルスの感染拡大と米国大統領選挙が株価に影響を与える重要な話題となっています。新型コロナウイルスに関しては、一部の製薬企業やバイオ医薬品企業が急ピッチで開発を行っており、比較的短期間に効果のある治療法が発見されるものとみています。当面は、抗体治療の治験結果と、ワクチン開発の最終段階の治験結果発表が待たれる状況ですが、2020年末もしくは2021年初めにワクチン承認の可能性が高まった場合には、どのように配分するのが新たなトピックとして浮上するものと予想します。

注目されていた米国の選挙については、民主党のバイデン候補が大統領となり、連邦議会では上院が共和党、下院が民主党のねじれ議会が続く公算が大きくなったことは、最善のシナリオと考えます。バイデン大統領の誕生により、混沌とした状況が改善し、科学や規制当局への信頼性を高め、科学分野への政府支出を増やす可能性があります。一方、ねじれ状態の連邦議会は、超党派の支援がなければ法律を制定することが難しく、法案が急進的なものではなく、より穏健なものになることを意味しています。今後は、民主党、共和党の超党派で進めているメディケア（高齢者向けの医療保険プログラム）の改革の動きが医薬品の価格の引き下げにつながる可能性があります。診療件数や処方箋件数などの面では量的増加につながり、全体的にはポジティブに働くと考えます。

○運用方針

当ファンドは引き続き、堅固な事業基盤を有し、優秀な経営陣を擁する企業を厳選し、高いイノベーション能力と強い戦略的展望のある企業を選定することが、投資家の利益につながると考えます。綿密なファンダメンタルズ（基礎的条件）分析と科学面および臨床データの評価に加え、未だ満たされていない医療ニーズを満たすような薬や新薬候補を有する企業に注目していく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年11月19日～2020年11月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 30 (30)	% 0.051 (0.051)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	2 (2)	0.003 (0.003)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	9 (9) (0)	0.015 (0.015) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	41	0.069	
期中の平均基準価額は、58,726円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2019年11月19日～2020年11月18日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 85,803	千米ドル 370,513	百株 134,834	千米ドル 823,922
	デンマーク	—	千デンマーククローネ —	957	千デンマーククローネ 157,288
国	ユーロ	—	千ユーロ —	—	千ユーロ —
	ドイツ	—	—	737	9,120

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2019年11月19日～2020年11月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	131,845,852千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	69,836,268千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.88

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年11月19日～2020年11月18日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	$\frac{B}{A}$ %		百万円	$\frac{D}{C}$ %
為替直物取引	百万円 3,150	百万円 -	% -	百万円 55,182	百万円 4,733	% 8.6

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2020年11月18日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
			千米ドル	千円	
(アメリカ)	百株	百株			
ALX ONCOLOGY HOLDINGS INC	—	29	194	20,239	バイオテクノロジー
ACADIA PHARMACEUTICALS INC	2,467	2,838	15,693	1,633,555	バイオテクノロジー
ACCELERON PHARMA INC	—	989	11,261	1,172,230	バイオテクノロジー
AEGLEA BIOTHERAPEUTICS INC	—	2,760	2,573	267,835	バイオテクノロジー
ALEXION PHARMACEUTICALS INC	1,750	1,915	24,455	2,545,593	バイオテクノロジー
ALLAKOS INC	941	693	7,036	732,389	バイオテクノロジー
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	2,252	526	6,802	708,096	バイオテクノロジー
AMARIN CORPORATION PLC-ADR	3,765	2,598	1,179	122,799	バイオテクノロジー
AMGEN INC	2,701	1,305	30,334	3,157,550	バイオテクノロジー
AMICUS THERAPEUTICS INC	16,858	1,749	3,967	413,001	バイオテクノロジー
ANNEXON INC	—	1,003	2,375	247,228	バイオテクノロジー
APTOSE BIOSCIENCES INC	—	4,881	2,875	299,279	バイオテクノロジー
ARENA PHARMACEUTICALS INC	3,426	1,214	7,823	814,331	バイオテクノロジー
ARGENX SE-ADR	619	—	—	—	バイオテクノロジー
ARVINAS INC	983	461	1,136	118,254	医薬品
AURINIA PHARMACEUTICALS INC	—	5,546	7,515	782,253	バイオテクノロジー
AXSOME THERAPEUTICS INC	—	1,083	8,229	856,616	医薬品
BEIGENE, LTD ADR	321	377	10,736	1,117,541	バイオテクノロジー
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	2,251	2,404	18,402	1,915,474	バイオテクノロジー
BIOGEN INC	1,232	1,023	25,462	2,650,440	バイオテクノロジー
BLUEPRINT MEDICINES CORP	1,296	1,272	12,602	1,311,784	バイオテクノロジー
CELGENE CORP	2,022	—	—	—	バイオテクノロジー
CHEMOCENTRYX INC	—	1,962	11,750	1,223,135	バイオテクノロジー
CYTOKINETICS INC	—	622	964	100,443	バイオテクノロジー
DECIPHERA PHARMACEUTICALS INC	2,085	1,067	7,041	732,998	バイオテクノロジー
DENALI THERAPEUTICS INC	2,818	860	5,794	603,193	バイオテクノロジー
EXELIXIS INC	11,191	8,103	15,616	1,625,499	バイオテクノロジー
FATE THERAPEUTICS INC	4,694	1,020	5,350	556,961	バイオテクノロジー
GW PHARMACEUTICALS -ADR	703	560	6,778	705,581	医薬品
GILEAD SCIENCES INC	8,400	3,455	21,066	2,192,847	バイオテクノロジー
GLOBAL BLOOD THERAPEUTICS INC	2,590	2,413	10,329	1,075,213	バイオテクノロジー
HALOZYME THERAPEUTICS INC	8,046	1,853	7,556	786,576	バイオテクノロジー
IGM BIOSCIENCES INC	—	468	2,516	261,969	バイオテクノロジー
ILLUMINA INC	741	219	6,525	679,260	ライフサイエンス・ツール/サービス
IMMUNOVANT INC	—	978	5,155	536,653	バイオテクノロジー
IMMUNOMEDICS INC	4,732	—	—	—	バイオテクノロジー
INCYTE CORP	3,831	1,533	12,728	1,324,880	バイオテクノロジー
KALVISTA PHARMACEUTICALS INC	2,427	1,313	2,548	265,279	バイオテクノロジー
KARUNA THERAPEUTICS INC	—	625	6,242	649,777	バイオテクノロジー
KRYSTAL BIOTECH INC	1,111	716	3,001	312,458	バイオテクノロジー
KYMERA THERAPEUTICS INC	—	595	3,057	318,304	バイオテクノロジー
MEDICINES COMPANY	1,160	—	—	—	バイオテクノロジー
MERSANA THERAPEUTICS INC	—	2,843	6,788	706,615	バイオテクノロジー
MIRATI THERAPEUTICS INC	482	213	4,907	510,832	バイオテクノロジー
MOLECULAR TEMPLATES INC	—	2,989	2,890	300,917	バイオテクノロジー
MYOKARDIA INC	1,460	—	—	—	医薬品

銘柄	株数	当期		業種等		
		株数	評価額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
NANOSTRING TECHNOLOGIES INC	3,371	689	3,314	344,972	ライフサイエンス・ツール/サービス	
NEOLEUKIN THERAPEUTICS INC	—	3,516	4,261	443,614	バイオテクノロジー	
NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	2,570	1,999	18,349	1,910,013	バイオテクノロジー	
NOVAVAX INC	—	370	3,442	358,378	バイオテクノロジー	
ODONATE THERAPEUTICS INC	815	—	—	—	医薬品	
PTC THERAPEUTICS INC	3,214	525	3,302	343,782	バイオテクノロジー	
PRINCIPIA BIOPHARMA INC	1,543	—	—	—	バイオテクノロジー	
REATA PHARMACEUTICALS INC-A	—	422	7,084	737,397	医薬品	
REGENERON PHARMACEUTICALS	1,364	452	24,365	2,536,237	バイオテクノロジー	
SAGE THERAPEUTICS INC	634	—	—	—	バイオテクノロジー	
SANGAMO THERAPEUTICS INC	2,859	—	—	—	バイオテクノロジー	
SAREPTA THERAPEUTICS INC	2,160	672	9,402	978,751	バイオテクノロジー	
SEAGEN INC	—	1,478	25,604	2,665,179	バイオテクノロジー	
SEATTLE GENETICS INC	2,617	—	—	—	バイオテクノロジー	
SPRINGWORKS THERAPEUTICS INC	—	1,326	9,169	954,431	バイオテクノロジー	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	287	—	—	—	ライフサイエンス・ツール/サービス	
TURNING POINT THERAPEUTICS I	1,620	929	10,110	1,052,452	バイオテクノロジー	
VERACYTE INC	4,405	—	—	—	バイオテクノロジー	
VERTEX PHARMACEUTICALS	2,999	1,315	29,333	3,053,324	バイオテクノロジー	
ZOGENIX INC	1,892	—	—	—	医薬品	
ZYMEWORKS INC	2,390	1,132	4,907	510,814	バイオテクノロジー	
BIOHAVEN PHARMACEUTICAL HOLDING CO LTD	2,361	552	5,339	555,810	バイオテクノロジー	
HORIZON THERAPEUTICS PLC	—	2,213	15,822	1,646,952	医薬品	
KINIKSA PHARMACEUTICALS-A	—	1,681	2,561	266,599	バイオテクノロジー	
OBSEVA SA	923	—	—	—	バイオテクノロジー	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	137,404 49	88,373 57	525,647 —	54,714,610 <95.4%>	
(デンマーク)			千デンマーククローネ			
GENMAB A/S	1,010	53	11,722	194,242	バイオテクノロジー	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,010 1	53 1	11,722 —	194,242 <0.3%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
MORPHOSYS AG	737	—	—	—	バイオテクノロジー	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	737 1	— —	— —	— <-%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	139,152 51	88,426 58	— —	54,908,852 <95.8%>	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2020年11月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	54,908,852	88.7
コール・ローン等、その他	6,994,307	11.3
投資信託財産総額	61,903,159	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産 (61,431,917千円) の投資信託財産総額 (61,903,159千円) に対する比率は99.2%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=104.09円、1デンマーククローネ=16.57円、1ユーロ=123.43円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年11月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	66,066,359,321
コール・ローン等	6,766,198,280
株式(評価額)	54,908,852,574
未収入金	4,371,746,975
未収配当金	19,561,492
(B) 負債	8,725,646,792
未払金	4,384,646,518
未払解約金	4,341,000,000
未払利息	274
(C) 純資産総額(A-B)	57,340,712,529
元本	8,722,575,784
次期繰越損益金	48,618,136,745
(D) 受益権総口数	8,722,575,784口
1万口当たり基準価額(C/D)	65,738円

(注) 期首元本額は17,759,676,375円、期中追加設定元本額は2,984,822,429円、期中一部解約元本額は12,021,923,020円、1口当たり純資産額は6.5738円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース 4,565,729,004円
 ・ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース 4,156,846,780円

○損益の状況 (2019年11月19日～2020年11月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	262,039,266
受取配当金	257,187,865
受取利息	3,653,515
その他収益金	3,263,265
支払利息	△ 2,065,379
(B) 有価証券売買損益	20,065,750,187
売買益	28,025,797,237
売買損	△ 7,960,047,050
(C) 保管費用等	△ 10,955,955
(D) 当期損益金(A+B+C)	20,316,833,498
(E) 前期繰越損益金	72,966,867,656
(F) 追加信託差損益金	13,566,487,571
(G) 解約差損益金	△58,232,051,980
(H) 計(D+E+F+G)	48,618,136,745
次期繰越損益金(H)	48,618,136,745

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。